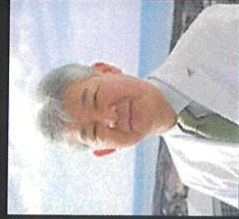


第9回病態診断医学セミナー
次世代北信がんプロFD講演会

2026年8月7日(金) 15:30-17:00
金沢医科大学医学教育棟3階 病理診断室及び
オンライン

8/6締切 参加申し込み
フォームURL

肺癌診療における治療方針決定のプロセス — 集学的治療時代に求められる病理医との協働



浦本 秀隆 先生

産業医科大学 医学部 第2外科学 教授
産業医科大学病院 病院長補佐、
呼吸器・胸部外科 診療科長

ご略歴

1994年 産業医科大学 医学部 卒業
2002年 Sweden 王国 Gothenburg University 留学
2004年 産業医科大学病院 第2外科 助手
2009年 産業医科大学 医学部 第2外科学 講師
2013年 産業医科大学 医学部 第2外科学 准教授、
産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科 診療副科長
2014年 埼玉県立がんセンター 胸部外科 科長 兼 部長
2016年 金沢医科大学 医学部 呼吸器外科学 教授
2026年 産業医科大学 医学部 第2外科学 教授、
産業医科大学病院 病院長補佐、呼吸器・胸部外科 診療科長

学会活動

日本外科学会 専門医及び指導医、日本呼吸器外科学会 専門医及び評議員
日本がん治療認定医機構がん治療認定医、肺がんCT検診認定医、
日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医及び指導医及び評議員、
da Vinci Certificate (Console Surgeon, Procter)、胸腔鏡安全技術認定医、
日本内視鏡外科学会 技術認定医及び評議員、
日本臨床腫瘍学会 癌薬治療法専門医及び指導医、日本肺癌学会 暫定指導医及び評議員

近年、肺癌治療は著しい変貌を遂げている。分子標的治療薬および免疫チェックポイント阻害薬の導入、さらには周術期治療の確立をはじめとする治療法の進歩に伴い、診療ガイドラインは継続的に改訂され、TNM病期分類も更新されてきた。これにより、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、腫瘍内科、病理診断科ならびに関連医療スタッフには、がんゲノム医療を見据えた組織検体の適切な取り扱いを含め、最新の知識と実践的対応力が求められている。また、診断技術の進歩も顕著であり、EBUS、仮想気管支鏡ナビゲーション、クワイオ生検などの普及により、病理診断に求められる精度と責務は一層高まっている。本セミナーでは、加速度的に進歩する肺癌診療における治療方針決定のプロセスを概説し、集学的治療時代において病理医といかに協働し、より適切な診療体制を構築するかについて論じる。

担当 金沢医科大学 医学部 臨床病理学 山田壮亮 教授
共催 次世代北信がんプロ
問合せ先 金沢医科大学 学事部 大学院課
kmug-pro@kanazawa-med.ac.jp

※ 次世代北信がんプロ科目単位申請対象
のセミナーです。